

衛生管理（感染症）問題 2024通信

1 細菌の変異に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 変異によって、化学療法剤や消毒剤に対する耐性を獲得することがある
- ② 変異によって、細菌の病原性が低下することがある
- ③ 変異には、細菌が新たな性質を獲得する場合と本来持っていた性質を失う場合がある
- ④ 変異によって、細菌の形態が変化することはない

2 病原体の感染に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 不顕性感染とは、感染して発病しているが、体外に病原体を排泄していない状態をいう。
- ② 持続性感染とは、感染を受けた宿主が、発病しないで長期間にわたって病原体と共存し続けている状態をいう。
- ③ 日和見感染とは、通常、健康人のほとんどが感染し、一部の人が感染していない状態をいう。
- ④ 病原体が人体に侵入しても発育・増殖できず、殺滅されて全部体外に排除された場合も感染という。

3 次のうち、健康な人であれば通常、感染を起こさないような弱毒の病原体に感染し、発病している状態を表したものはどれか。

- ① 不顕性感染 ② 持続性感染 ③ 無症状感染 ④ 日和見感染

4 感染と発病に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 感染しても発病しないこともある。 ③ 感染とは、病原体が人体の組織に侵入して増殖することである。
- ② 病原体が人体に付着すると必ず感染する。 ④ 発病とは、感染した人体の組織や臓器に病的な変化が起きることである。

5 常在細菌叢に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 人体の皮膚や粘膜などには、一定の細菌が定着しており、常在細菌叢とよばれている。
- ② 鼻腔の常在細菌として、多数のブドウ球菌が存在しているが、感染源となることはない。
- ③ 常在細菌の存在によって、病原体の人体への侵入を防ぐ現象が知られている。
- ④ ビタミンなど人体に必要な物質を産生している腸内細菌もある。

6 人体の部位と存在する常在細菌叢に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- ① 皮膚……結核菌 ② 顔面……ジフテリア菌 ③ 鼻腔……ブドウ球菌 ④ 毛髪……コレラ菌

7 免疫に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 病原体あるいは毒素の体細胞に対する刺激で免疫が成立し、この刺激となるものを抗原という。
- ② 免疫を獲得すると人体の体液中に抗原に対抗する物質ができ、これを抗体という。
- ③ 一度産生された抗体は、生涯にわたって有効である。
- ④ 予防接種により得られるものは、後天免疫である。

8 次の感染症のうち、予防接種法の対象でないものはどれか。

- ① 風しん ② 急性灰白髄炎(ポリオ) ③ C型肝炎 ④ 百日せき

9 次の感染症のうち、胎内感染することがあるものはどれか

- ① コレラ ② 百日せき ③ 風しん ④ 腸管出血性大腸菌感染症

10 次の感染症のうち飛沫核感染（エアゾール感染）をしないものはどれか。

- ① A型肝炎 ② 結核 ③ 水痘（水ぼうそう） ④ 麻しん

11 感染症と感染経路に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ベストは、蚊を介して感染する。 ③ コレラは、飲食物を介して感染する。
- ② 麻しんは、飛沫（しぶき）を介して感染する。 ④ 破傷風は、土壌を介して感染する。

12 次の感染症のうち、患者や病原体保有者によって汚染されたタオルなどへの接触を原因として感染するものはどれか

- ① 日本脳炎 ② マラリア ③ 伝染性膿痂疹（のうかしん）（トビヒ） ④ 破傷風

13 感染症予防の3原則に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 学校（学級）閉鎖は、感染経路対策である。 ③ 予防接種は、宿主の感受性に関する対策である。
- ② ネズミや昆虫の駆除は、感染源対策である。 ④ 検疫は、感染源対策である。

解答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	④	②	④	②	②	③	③	③	③	①	①	③	②